

茨城県 霞ヶ浦環境科学センター年報

Annual Report of
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

第1号

2005
平成17年度



茨城県霞ヶ浦環境科学センター
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

はじめに

霞ヶ浦環境科学センターは、平成7年10月につくば市・土浦市で開催された第6回世界湖沼会議において設置が提唱され、多くの検討を経て、ちょうど10年目の平成17年4月に開館となりました。

この10年で環境に対する社会の認識はかなり変わりました。環境保全のための法律がいくつか制定されるとともに、昭和46年に制定された「茨城県公害防止条例」が、新たに「茨城県生活環境の保全等に関する条例」へと全面改正されました。また、一方では、市民の環境保全活動や環境に配慮する企業活動は盛んになりつつあります。しかしなお、霞ヶ浦の水質浄化など環境の課題は解決にほど遠く、それどころか、地球温暖化など新しい問題が提起されています。

環境に関する様々な課題に対処するためには、市民・企業・研究者・行政が、それぞれの立場を尊重しつつも、たがいに緊密な連携を保って課題に取り組む姿勢が重要となってくると考えられます。

このようなことを踏まえ、霞ヶ浦環境科学センターでは、霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼、河川の水環境や大気環境などの保全に取り組むため、「調査研究・技術開発」、「環境学習」、「市民活動との連携・支援」、「情報・交流」の4つの機能を、市民、研究者、企業及び行政の4者のパートナーシップのもと、効果的に発揮できる総合的な拠点としての施設を目指しています。

本年報は、平成17年度における環境学習、市民活動連携・支援、調査研究等に係る活動状況の概要を取りまとめた事業活動報告書です。また、霞ヶ浦の水質汚濁解明に向けた各種調査研究も緒に着いたばかりで、十分な研究成果にはなっておりませんが、中間報告として併せて掲載することといたしました。

本センターの目的を達成するためには、皆様のご理解とご支援が必要不可欠です。本書をご高覧のうえ、当センターの活動につきまして、ご指導、ご助言等いただければ幸いです。

平成18年12月

茨城県霞ヶ浦環境科学センター
センター長 前田 修

目 次

霞ヶ浦環境科学センターの概要	1
1 沿 革	1
2 施設の概要	1
3 組 織	4
4 職員数	4
5 予 算	5
6 環境管理システム(ISO14001)の推進	5
7 表 彰	6
行幸啓・お成り	8
環境学習・啓発	10
1 環境学習	10
(1) 水環境学習推進事業	10
(2) 霞ヶ浦環境学習等推進事業	11
(3) その他	13
2 環境啓発	14
(1) 霞ヶ浦水質浄化強調月間事業	14
(2) 霞ヶ浦水質浄化ふれあい事業	15
(3) 霞ヶ浦「百万人の湖(ミリオンズレイク)」推進事業	16
(4) ミリオンズレイク調査研究事業	18
市民活動連携・支援	19
1 市民活動連携推進事業	19
2 市民参画推進事業	20
情報交流	22
1 情報収集発信事業	22
2 霞ヶ浦環境科学センターホームページの運営	23
調査研究・技術開発	24
1 研究企画事業	24
(1) 業務評価委員会の開催	24
(2) 客員研究員制度の活用実績	24
(3) シンポジウム等の開催	25
(4) インターンシップ研修生の受入	26
2 調査研究事業	27
3 技術開発	27
4 共同研究事業	27
5 その他	28
(1) 研修・講習会等への参加	28
(2) 研究室一般公開	28

研究報告	83
1 水環境研究室	83
2 大気環境研究室	83
研究発表業績	148
1 学会等研究発表	148
2 誌上发表	148
資料編	149
1 職員名簿	149
2 入館者数	150
3 施設利用状況	150
4 主要機器及び装置	151
5 諸規程等	152